

第4学年 情報モラル教育学習指導案

1 指導観

- 本学年の児童は、パソコンやケータイに触れ合う機会が多いということが実態調査から分かった。

まず、パソコンについての実態調査から次のようなことが分かる。図-1を見ると、学年の %が家庭でパソコンを所持している。そして、インターネットを利用している児童に使用目的を尋ねると、図-2のように、情報を調べることが一番多く、次に、ネットゲームをする、動画・音楽を見たり聞いたりするという項目が多かった。しかし、図-3を見ると、家庭でパソコンを利用している児童の %が、パソコンを利用する際の保護者とのルールがないと答えている。つまり、パソコンを利用する機会が増えているが、無防備にインターネットに触れている児童がいることが分かる。

次に、ケータイについての実態調査から次のようなことが分かる。図-4を見ると、学年の %がケータイを使用している。しかもその3分の1にあたる %の児童は、個人で使えるケータイを持っている。つまり、ケータイが児童に普及してきていることが分かる。そして、ケータイを使用している児童に使用目的を尋ねると、図-5のように、メールをするが一番多く、次に動画・音楽を見たり聞いたりする、情報を調べるが多いことが分かる。しかし、こちらもパソコンと同様に、図-6を見るとケータイを利用している児童の %が、ケータイを利用する際の保護者とのルールがないと答えている。つまり、ケータイを利用する機会が増えているが、無防備にインターネットに触れている児童がいることが分かる。

このように、本学年の児童の多くはパソコンやケータイに常に関わっている状況にあるといえる。そして、使用するルールも十分にないままインターネットに触れ、危険にさらされていると考えることができる。

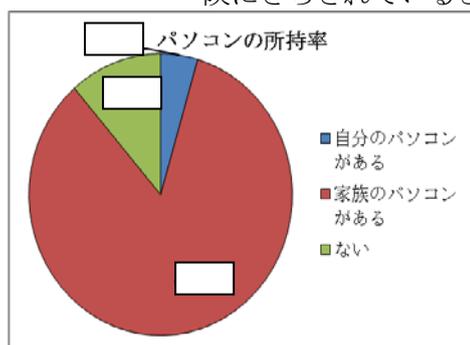


図-1

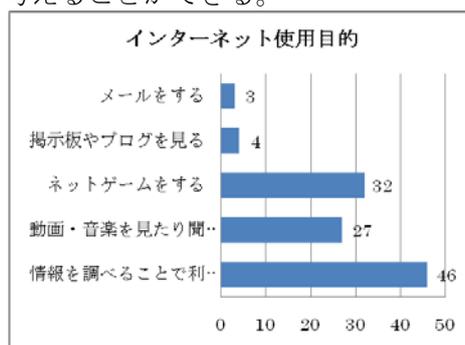


図-2

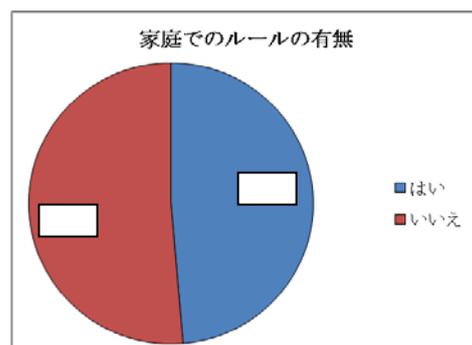


図-3

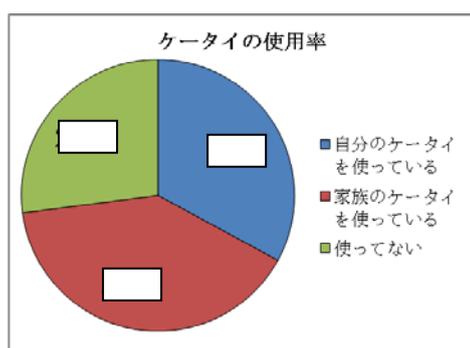


図-4

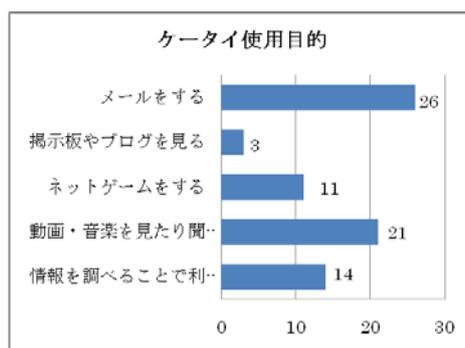


図-5

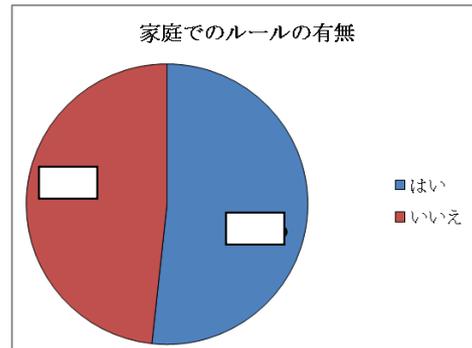


図-6

- 本教材は、私たちは情報を簡単に発信することができる社会に生きていることを知り、自分が発信する情報の一つ一つをどのような影響を及ぼすのかよく考えて行動することの大切さに気付かせるものである。

現在、私たちはパソコンやケータイの普及により、電子メールに接する機会が日常的になってきていると思われる。手紙や電子メールなど、文字だけで相手に何かを伝えようとする時には、相手への思いやりがなくなると、思わぬ誤解を生むことがある。

そこで、「ぼくは、いいよ。」という返事を見て、「サッカーに来てくれる。」と受け取った洋一さんと「ぼくは行けないよ。」という意味で書いた真くんの2人の思わぬ誤解がどうして起こったのか考えさせることは、情報を発信する立場と受信する立場の情報モラルを身に付ける上で意義深いと考える。

こうすることで、これからの情報化社会で情報を発信、受信する時に相手の立場に立って考えていくことの大事さを学ぶことができると考える。

- 情報モラルの指導にあたっては、情報モラル指導カリキュラム表に準じて作成した情報モラルカリキュラム（試案）に沿って、計画的に指導していく。また、ケータイでのメールの使用率が高く、メールを家族だけではなく、友達や知らない人に送信しているという実態から、メールに関する題材に取り上げて指導する。

道徳の副読本「きみがいちばんひかるとき」にある「でんわのおじぎ」を指導して、その学習中に「情報を正しくつたえるために」という情報モラルの題材を20分程度で指導する。

まず、導入段階においては、姿が見えないために、相手への思いやりがなくなると、思わぬ誤解を生むことになることを伝える。そして、ケータイのメールなど、文字だけで何かを伝える時は注意が必要であることを伝える。さらに、視覚教材を電子黒板で提示しながら、本時学習のめあてをつかませる。

次に、展開段階においては、子どもたちに「サッカーに来てくれる」「サッカーに来られない」のどちらの意味でメールの文章を受け取ったか発表させて、どうして勘違いが起きたのか考えさせる。そして、その問題点を話し合わせるようにする。こうすることで、実際に学級の友達の多様な受け取り方に気付くこともできると考える。

最後に、どう書けばよかったのか話し合わせて、情報の発信者として気をつけることを、電子黒板を使ってまとめる。

- 2 資料名**「でんわのおじぎ」 **主題名**「心のこもったれいぎ」 **指導内容** 中2-(1)礼儀
題材名「情報を正しくつたえるために」

3 本時

(1) 道徳のねらい

○だれにでも心をこめて接し、互いに気持ちよく生活しようとする態度を育てる。

(2) 情報モラル指導のねらい (c2-1)

○情報を発信する際のルールやエチケットを理解し、守ろうとする態度を養うことができる。

(3) 準備 パソコン、電子黒板、情報モラル教材、学習プリント

(4) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点	配時
<p>1 日常生活を振り返り、月のめあてを確認して、教師と挨拶をする。</p>	<p>*本時学習の方向付けをするために、相手が目に見える時に、おじぎをしてから、あいさつをしていることを確かめ、本時のめあてを確認する。</p>	3
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">相手が見えない時に、大切な心について考えよう。</p>		
<p>2 資料「でんわのおじぎ」を読み、晶子ちゃんと洋一君やおばあちゃんの気持ちについて話し合う。</p>		17
<p>(1) 教師の範読を聞く。</p>	<p>・場面を想像しやすくするために、②</p>	
<p>(2) おばあちゃんの電話がおもしろいと思う2人の気持ちについて話し合う。</p>	<p>に、会話文は感情をこめて意図的に④</p>	
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">電話に出たおばあちゃんを見ながら、晶子ちゃんと洋一君はどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>・黒板に挿絵を掲示し、電子黒板には本文を提示する。大事な文には線を引いて、強調する。⑧</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・相手は見えないのに、お辞儀をするのはおもしろい。 ・相手が目の前にいるみたいでおかしい。 		
<p>(3) お母さんの話を聞いて、「そう言えばそうかもね。」と言った時の晶子ちゃんの気持ちについて話し合う。</p>		
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「そう言えばそうかもね。」と言った時の晶子ちゃんの気持ちを、吹き出しに書きましょう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・目に見えなくても礼儀正しくしよう。 ・私もおばあちゃんのようにしたいなあ。 		
<p>(3) おばあちゃんがどんな気持ちで、電話でおじぎをしているか話し合う。</p>		③
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おばあちゃんはどんな気持ちで、電話でおじぎをしているのでしょうか。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・心をこめて相手を大事にしている。 		
<p>3 「情報を正しくつたえるために」について電子黒板を見て、話し合う。</p>	<p>・道徳で学んだ、「相手の姿が見えなくても、心をこめて話すことで、相手に心を伝えることができる」というまとめから、②</p>	20
<p>(1) 情報モラルのめあてを確かめる。</p>		
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報を正しく伝えるために大事なことを考えよう。</p>		
<p>(2) 視覚教材を見て、何が問題か考えて話し合う。</p>	<p>・電子黒板に視覚教材を提示して、児童の発言を書きこむようにする。⑧</p>	
<p>○ どうして洋一君は勘違いをしたのでしょうか。</p>		
<p>問題点： ・「ぼくは、いいよ。」と伝えたいことがはっきりせず、肯定か否定か分からないこと。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・はっきり分からないことを、相手に聞いて確認していないこと 		
<p>(3) 視覚教材で学習のまとめをする。</p>	<p>・まとめで、保存した問題点の画面を開いて再度問題点を確かめる。②</p>	
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報の発信者として、常に相手の立場に立って考えることが大事。</p>	<p>・どう書けばよかったのか、電子黒板に書かせる。⑧</p>	
<p>(4) 学習したことを生かして、誤解を招かないためにどう書けばよいか考えて話し合う。</p>	<p>・学習プリントに分かったことや、これから手紙やメールで気をつけたいことを書いて発表する。</p>	
<p>○ 誤解を招かないために真君はどう書けばよかったでしょう。</p>		
<p>まこと君： ぼくは、明日習い事があるから、サッカーに行けません。</p>		
<p>4 本時学習を振り返る。</p>		5

めあて

情報を正しく伝えるために大事なことを考えよう。

○ どうして、よういちくんは、かんちがいをしたと思いますか。

.....

.....

.....

○ 誤解をまねかないために、どう書いたらよいと思いますか。実際に書いてみましょう。

・ サッカーへのおさそいのメール

・ 返事のメール

<p>To まことくん Sub 明日</p> <p>明日、公園で、サッカーのゲームをするから、来てよ。</p>	<p>To よういちくん Sub Re: 明日</p>
---	---------------------------------

○ 今日の学習で・・・

① 何が問題か考え、進んで学習に取り組むことができましたか。

1 (はい)	2 (まあまあ)	3 (あまり)	(いいえ) 4
--------	----------	---------	---------

② 情報を正しく伝えるために、どうしたらよいか分かりましたか。

1 (はい)	2 (まあまあ)	3 (あまり)	(いいえ) 4
--------	----------	---------	---------

③ 学習前と学習後を比べて、分かったことや手紙やメールで今後気をつけたいことを書きましょう。

.....

.....

.....